横浜訓盲学院だより

第68号（2026年11月号）　2026年10月28日発行

〒231-0847　横浜市中区竹之丸181番地　URL：http://kunmou.jp/
代　表　TEL:045-641-2626　FAX:045-641-2627　E-mail：jimu@kunmou.jp
普通部（直通）TEL/FAX:045-662-1710　　理療科（直通）TEL/FAX:045-662-1833



学院長 星　祐子

コミュニケーションの力を育む

本学院では、コミュニケーションの力を育むことを大切にしています。コミュニケーションの育ちには、感情の交流や共感、物を介してのやりとりを豊かにし、子どもとやりとりする中で、感情や思いを伝え合うこと、子ども自身が伝えたい、分かち合いたい、という気持ちを持つことがコミュニケーションの土台となります。

コミュニケーション手段として考えられるものは、身体の動き、しぐさ、身振り、視線、発声、音声言語、手話（触手話）など、多種多様です。子どもたち一人ひとりの障がいの状態や日常生活の様子等を把握しながら、それぞれの子どもに応じたコミュニケーション手段を見つけ出すことを大切にしています。

身振りサインについて考えてみます。身振りサインは、活動・動作の中での自然な動きを取り入れていきます。たとえば、ブランコのロープを提示しながら、両手でこぐ動作を「ブランコにのる」という身振りサインにするといったように、実物や実物の一部と併用することで、イメージしやすく、分かりやすくなります。そして、身振りサインは数が増えると、紛らわしくなるため、手話の単語の活用も図っていくことが考えられます。理解し、活用できる手話が増えることで、コミュニケーションの量も増えていきます。

視覚が活用できる場合は、実物から、写真や絵カードに移行し、受信・発信に使うこともできます。たとえば、何枚かのカードを提示し、その中から好きな活動を選択してもらう、反対にカードを提示し、活動に見通しを持ってもらうといった方法が考えられます。

このように、様々な手立てを用いて、コミュニケーションの量と質を高めていき、子どもが安心感や見通しをもち、人と関わり、生活そのものが豊かで拡がりのあるものになっていくことを日々の教育活動の中で大切にしています。



「明日のことまで思い悩むな。」
マタイによる福音書　第6章34節
《11月の聖句》天の父は、わたしたちに本当に必要なものをご存知である。

全体登校日！「縁日」



今年の縁日は、全体登校日の7月22日(水)にみんなで楽しみました。あいにくの猛暑のため、集まり会とスイカ割りは多目的室で行いました。

すると突然、「わっしょい!わっしょい!」と元気な掛け声が!高等部のお兄さん、お姉さんが神輿を担いで登場し、一気にお祭りムードに。続いて、みんなのお楽しみ、スイカ割りです。三浦から元職員の先生が運んでくださった7玉のスイカを、みんなで応援しながら楽しみました。

その後は縦割りグループに分かれ、的当て、フランクフルト、ジュースすくい、光と振動のお部屋、スーパーボールすくい、くじ引き、盆踊りなど、盛りだくさんの縁日をめぐりました。

給食は食彩工房さんにお願いした焼きそば!笑顔いっぱいの楽しい一日となりました。







佳子内親王殿下のご訪問について



佳子内親王殿下が、5月末、そして、7月初旬に、当学院をご訪問くださいました。普通部の各グループ・科の授業の様子をご視察いただき、握手や掌を合わせてのタッチ、お声掛けなど、子どもたち一人ひとりのコミュニケーション手段に応じて、かかわってくださいました。

7月のご訪問では、高等部普通科・高等部専攻科生活科合同の「音楽」の授業で「Try Everything」の合唱・合奏に加わって、交流くださいました。



子どもたちは、内親王殿下の優しいお人柄に触れ、笑顔があふれ、素晴らしい時間を過ごすことができました。

内親王殿下におかれましては、ご多忙の中、貴重なご訪問をいただいたこと、子どもたちの障がいや発達に応じた多様なコミュニケーション手段で、温かい笑顔で接してくださったこと、たくさんの励ましのお言葉をいただいたことに、心から感謝申し上げます。

ご訪問の様子は、宮内庁のホームページにも掲載されました。以下からご覧いただけます。
https://www.kunaicho.go.jp/watch/activity/schedule03/202607/20260703-01.html

視覚障がいミニ知識

白　杖

視覚障がいのある方が使う白杖は、全体的には白色ですが、一部分が赤色になっています。

これは、車や周りの人々に注意を促すために色をつけたと言われています。注意を示す色には、赤や黄色などありますが、白杖の本体部分の白い色に赤色をつけたシャフトが、いちばん目立ったということで、赤色が採用されたそうです。白杖に赤色の部分があるのは、ほとんどが日本の物です。

白杖の備えについては、道路交通法に『目が見えない者（目が見えない者に準ずる者を含む。）は、道路を通行するときは、政令で定めるつえを備え、又は政令で定める盲導犬を連れていなければならない』と述べられています。

白杖は携えなければなりませんが、必ずしも使わなければならないということではないそうです。



夏季職場見学を実施しました

横浜訓盲学院理療科では、夏季職場見学を実施しました。

鍼灸治療院やデイサービスなど3か所を訪問させていただき、実際の現場で行われている施術の体験や利用者に対する支援について学習しました。

鍼灸治療院では、業務内容や設備に関する話を伺ったり、施術の様子を間近で見学することができました。デイサービスでは、利用者との関わり方や健康維持のための取り組みなどについて理解を深めることができました。

今回の見学を通して、生徒たちは理療の仕事に対する理解を深めるとともに、将来の進路や働く姿を具体的に考える貴重な機会となりました。今後の学習や進路選択につながる、有意義な職場見学となりました。

第8回私立特別支援学校連合会専攻科教育実践交流会

8月28日（金）、本校にて私立特別支援学校連合会（※）による専攻科教育実践交流会が行われました。

午前中は参加者が二班に分かれて本校の各グループを見学した後、専攻科生活科の授業「余暇講座　ボッチャゲーム」を参観されました。午後の交流会では、今回のテーマである「卒業後の豊かな生活を見据えた取り組み」について協議が行われました。各校からは、専攻科卒業後に一人ひとりが地域の中で豊かな人間関係を築き、就労し、生活していく姿を見据えながら、学校教育の中で何ができるのか、また何を大切にしているのかについて、具体的な実践事例が報告されました。

それぞれの学校の発表も、どれも興味深く、学校の実情や抱えている問題などについて参加者全員が共有し、意見交換をすることができました。

※私立特別支援学校連合会とは、全国にある私立の特別支援学校（13法人14校）で結成し、特別支援教育の普及の推進・交流等を行っています。



2026年度　横浜訓盲学院教育実践研究協議会開催について

本学院では今年度「視覚と他の障がいを併せ有する幼児児童生徒の教育を考える」をテーマに、以下の通り教育実践研究協議会を開催いたします。日頃の教育活動の一端をご覧いただくとともに、実践報告や協議を通して、参加者の皆さまと重複障がいのある幼児児童生徒の教育について考えていきたいと思います。

1. 日　時　2027年2月27日（土）9:00～16:00
2. 会　場　横浜訓盲学院
3. 日　程　9:00～ 9:30 全体会　報告「横浜訓盲学院の教育について」
   9:30～11:45 授業参観（普通部の全学部を参観していただけます）
   11:45～12:30 昼食・休憩
   12:30～14:00 全体会　実践報告「視覚に障がいのある重複障がい生徒に関する実践報告～排尿の自立に向けた段階的支援の取組を中心に～」
   14:00～16:00 研究協議・交流
   （幼小・小中・高等部普通科・専攻科生活科別に協議を行います）
4. 参加費　資料代500円　昼食代1,000円（希望する方）
5. 備　考　詳細は第二次案内にてお知らせいたします

PTAバザーご案内

今年もPTAバザーを開催いたします。

パン、ポップコーン、焼きそば、模擬店や普通部生徒による手作り品の販売のほか、理療科では生徒によるクイックマッサージが催されます。この機会に是非お立ち寄りください。

⊙日時：11月14日(土)12:00～14:30
⊙場所：横浜訓盲学院　前庭・講堂など
※警報発令時は、中止とします。

◆献品のご協力のお願い◆

バザーに提供できる物品等がございましたら、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

⊙募集物品：新品、未使用、未開封の物品（食品は賞味期限内のもの）
⊙募集期間：10月30日(金)まで
⊙物品受付先：横浜訓盲学院 事務部(月曜日～金曜日にお願いします)
⊙お問合せ：〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地「横浜訓盲学院PTAバザー係」
電話：045-641-2626(代表)

思うツボ　AIと鍼灸の関わり

私たちの暮らしの中で、AI（人工知能）は身近な存在になりつつあります。健康分野でも、膨大な医療情報の分析や健康管理、診断の支援など、AIが活躍する場が今後、もっと増えていくと思います。一方で、健康に関わることだからこそ、AIの情報をそのまま信じるのではなく、専門家による判断や人との対話を大切にすることが必要です。

その意味で、昔からの治療法である鍼灸にも、人だからこそできる役割があります。特に、視覚障がいのある鍼灸師は、触れることや患者さんとの会話を大切にしながら、一人ひとりの状態に合わせた施術を行っています。視覚に頼らない感覚を生かした施術は、鍼灸という仕事の多様性を示すものでもあります。

AIが進歩するこれからの時代だからこそ、AIの力と人の経験、そして「人を思いやる心」を組み合わせることが、より良い健康づくりにつながるのではないでしょうか。

[2026年度後期の主な行事予定]

11月
- 7日(土)　理療科 オープンキャンパス
- 関東盲学校陸上大会
- 14日(土)　ＰＴＡバザー
- 17日(火)～20日(金)　普通部 学校公開

12月
- 2日(水)　普通部 第１次入学検定
- 19日(土)　クリスマス礼拝・祝会
- 25日(金)～1月7日(木)　冬休み

1月
- 16日(土)　理療科 第１次入学検定

2月
- 27日(土)　あん摩マッサージ指圧師国家試験
- 普通部 教育実践研究協議会
- 28日(日)　はり・きゅう師国家試験

3月
- 19日(金)　2026年度卒業式・修了式

助成金贈呈式



9月17日(火)、「みずほ教育福祉財団」様より助成金の贈呈式が本校で行われました。同財団の新井豊教育事業部長が来校され、目録をいただきました。今年度の助成金で、「低周波治療器」や「プレクストーク」等の機器を購入することができますことに感謝いたします。

「みずほ教育福祉財団」様は、昭和47年に設立され、初等中等教育や社会福祉関係への様々な助成を行われています。なお、全国の特別支援学校への支援は今回で45回目になります。

あたたかいご支援・ご配慮を頂きまして、誠にありがとうございます。

臨床実習のご案内

料　金　一律 1,000円　**時　間**　前半 10:00～（各50分ずつ）後半 11:00～

★あんま・マッサージ・指圧・はり灸★
〔月・水・金曜日〕

当学院の理療科では、授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり・灸の臨床を行っています。是非ご利用下さい。



◆ご予約はお電話で!
当日の朝 8:50～9:15
電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

⊙2027年度生徒募集⊙

【普通部】幼児・児童・生徒募集

○募集定員
- 幼稚部(3歳児・4歳児・5歳児)……計6名
- 小学部……1年生4名
- 中学部……1年生4名
- 高等部普通科……1年生4名
- 高等部専攻科生活科……1年生4名

○募集期間
- 《一次》2026年10月　1日(木)～2026年11月13日(金)
- 《二次》2027年　1月　8日(金)～2027年　2月12日(金)

○入学検定日
- 《第1回検定日》2026年12月　2日(水)　14:00～
- 《第2回検定日》随時

【高等部理療科】生徒募集

○募集定員
- 高等部専攻科保健理療科(3年課程)……1年生4名
- 高等部専攻科理療科(3年課程)……1年生8名

○募集期間
- 《一次》2026年10月　1日(木)～2027年1月　8日(金)
- 《二次》2027年　1月12日(火)～2027年2月26日(金)

○入学検定日
- 《第1回検定日》2027年　1月16日(土)　9:00～
- 《第2回検定日》随時(出願書類提出後、調整のうえ試験日を定め実施)

〔お問い合わせ〕
TEL.045-641-2626(代表)

●ご協力のお願い●
(2026年度 賛助会員)

私どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願い申し上げます。

【年　会　費】 法人(1口)10,000円／個人(1口)1,000円(口数は問いません)
【お支払い方法】 ・郵便振替〔加入者名〕学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金
【そ　の　他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。
【お問い合せ】 横浜訓盲学院 事務部　TEL.045-641-2626